

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

■ あなたのまちの居心地の良さはどれくらい？ -ウォーカブルを測る指標-

今佐和子（関東地方整備局 建設部 都市整備課長）【技術部会】

国土交通省都市局では「居心地が良く歩きたくなる」まちづくりを推進しています。今回は空間を測る「指標」について紹介します。都市空間での緑の量と居心地の良さは相関がある気がしているので、どこかのまちでぜひ測ってもらえると嬉しいです^^

(例：緑道を通っている、スポーツで遊んでいる人等を指す)

No.	行動	回答欄
1	携帯電話・スマートフォンを見ている	<input type="checkbox"/>
2	電話をしている	<input type="checkbox"/>
3	パソコンを見ている	<input type="checkbox"/>
4	本や雑誌等を見ている	<input type="checkbox"/>
5	建物や景色等を見ている（例：路上アート等含む）	<input type="checkbox"/>
6	何かが来るのを待っている（例：バス、人等）	<input type="checkbox"/>
7	何かの順番待ちをしている	<input type="checkbox"/>
8	何かに群がっている（例：芸、アート等含む）	<input type="checkbox"/>
9	写真・動画を撮っている	<input type="checkbox"/>
10	芸をしている	<input type="checkbox"/>

項目の例



指標例

● ウォーカブルを測る指標

- 居心地の良さや歩きたくなる度合いは人それぞれで、簡単に数値化できるものではありません。そこで都市局では「私たちのまちは、どれくらい居心地が良く歩きたくなるまちなのか」を測る指標を検討し、案として公表しました。
- いろいろな人がいろんなことをしている（Diversityな）空間ほど居心地が良いという考えのもと、多様さを測る項目が列挙されています。
- 歩きながらまちなかの状況を簡易に現状把握し、居心地の良いまちなかの形成には何が必要なのかといった改善点を発掘するツールとしてご利用いただけます。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「まちなかの居心地の良さを測る指標（案）」
(https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_fr_000009.html)

● 応用編？ 「笑顔度」という指標

- 交通安全分野では「笑顔度」という指標があります。空間の安全さと人の表情は関係があることが確認されています。画像認識やAIカメラの普及で実際に使える指標となってきましたが、口角を測るのでマスク時代では使えないようです。マスクを取って過ごせる時代が楽しみですね！

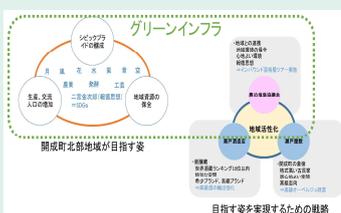
詳細はこちらから ▶▶▶ 「ストリートデザインガイドライン」の54ページ
(<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001403589.pdf>)

■ 地域活性化事業におけるグリーンインフラの活用

岩城 常修（株式会社オリエンタルコンサルタンツ 関東支社環境部）【企画・広報部会】

オリエンタルコンサルタンツでは、神奈川県開成町における地域活性化事業を行う中で、自主事業（酒造経営）・官民連携事業（古民家指定管理）とともに、グリーンインフラの取組を進めています。

● 開成町活性化事業の目指す姿



目指す姿と戦略のイメージ

- 開成町の地域活性化のあるべき姿は、「生産、交流人口の増加」、「地域資源の保全」、「シビックプライドの醸成」のサイクルを回し、スパイラルアップを図ることと考えています。
- 「地域資源の保全」と「シビックプライドの醸成」を推進するため、地域との連携を推進する「開成町農泊推進協議会」を設立し、地域資源（＝グリーンインフラ）を活用した取組を進めています。

● グリーンインフラを活用した取組の事例



古民家で舞うホタル

- 開成町の特徴であるきれいな水によるホタルや花といった特徴を活用し、地域に発信しています。
- 古民家においてホタルの飼育設備を整備し、地元のホタルの養殖・放流を行っています。また、あじさいや酔芙蓉といった地域の花を中心とした魅力ある風景を散策路として設定、マップを作成して配布しています。地域の魅力の発信により、住民の地域資源への認知向上、活動への参画を目指しています。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「GI官民連携プラットフォームHP 業界団体共催セミナーVol.1」
(<https://gi-platform.com/reference/#ref2021>)

プラットフォームより

■政府の動き

2021年12月18日(第2回)、2022年1月19日(第3回)

生物多様性国家戦略小委員会(第2回、第3回)が開催されました

関係省庁からのヒアリングを行った2021年11月の第1回に続き、関係団体ヒアリング(第2回:公益財団法人・一般社団法人、第3回:消費・流通関係)が実施されました。

また、第3回では次期生物多様性国家戦略骨子案の検討及び30by30ロードマップ構成と盛り込む主なポイントについても活発な議論が行われました。

詳細はこちらから ▶▶▶「[生物多様性国家戦略小委員会](https://www.env.go.jp/council/12nature/yoshi12-08.html)」
(<https://www.env.go.jp/council/12nature/yoshi12-08.html>)

2021年12月27日

第2回グリーン社会実現推進本部が開催されました(国土交通省)

2021年10月に7月に改定された政府の地球温暖化対策計画や気候適応変動計画等を踏まえ、国土交通省グリーンチャレンジを生かして「国土交通省環境行動計画」が改定されました。

改定された計画においても、「グリーンチャレンジ」同様、重点政策の一つとして「グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり」が掲げられています。

国土交通省は今後も計画の着実な実行を図っていきます。

詳細はこちらから ▶▶▶「[国土交通省環境行動計画](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/content/001448111.pdf)」
(<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/content/001448111.pdf>)

詳細はこちらから ▶▶▶「[グリーン社会推進実現本部](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_fr_000148.html)」
(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_fr_000148.html)

グリーンインフラに関する技術・資金調達手法の募集しています！(1月末まで)

グリーンインフラに関する技術・資金調達手法の募集期間を1月末まで延長しております。応募いただいた技術・資金調達手法については、技術部会・金融部会で整理・検討の上、2022年3月に技術集や金融部会資料集としてプラットフォームにおいて公表する予定です。

詳細はこちらから ▶▶▶「[グリーンインフラ技術・資金調達手法募集](https://giplatform.com/project/#practicalExample)」
(<https://giplatform.com/project/#practicalExample>)

今後の予定

2022年1月24日 オンラインセミナー #10
ブルーカーボンを活用した環境と経済の好循環の取組

<予定内容>

- (1)グリーンインフラを取り巻く最新の動向
- (2)各部会長が語る担当分野の動きと今年の取組
- (3)質疑応答

会員の方は[こちらから](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_XT2b8wVXQ22KbsOZ7WU0Jw)(会員限定・要事前登録)▶▶▶
「[ZOOMウェビナー](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_XT2b8wVXQ22KbsOZ7WU0Jw)」
(https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_XT2b8wVXQ22KbsOZ7WU0Jw)

会員以外の方も[YouTube](https://youtu.be/l2F.MUHQcck)よりご覧いただけます▶▶▶
「[YouTube同時配信](https://youtu.be/l2F.MUHQcck)」(<https://youtu.be/l2F.MUHQcck>)

会員情報

会員数:1308人・団体 (2022年12月31日時点)

● **新たな三号会員** (民間企業、学術団体等)

株式会社ブレインファーム、公益財団法人九州経済調査協会、NPO法人SATOMORI、宇都宮大学、鹿島道路株式会社、経団連自然保護協議会、淀川管内河川レンジャー、株式会社日刊工業新聞社、株式会社日本経済研究所、東英産業株式会社

人物紹介

グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



さとう るみ
佐藤 留美

出身:仙台市

NPO法人Green Connection TOKYO
代表理事/NPO法人NPO birth事務局長

みどりの中間支援組織を主宰し、公園など都市のグリーンインフラの機能を高める様々な取組みを、地域のステークホルダーとの連携で進めています。パークレンジャーやコーディネーターなど、みどりのまちづくりを担う人材を輩出し、人も自然もまちも元気になる地域づくりを実践しています。



随時会員募集！
(登録無料)

団体でも個人でも登録可能です。
是非左記サイトからご登録をお願いします！